

店舗や事業所、学校で新型コロナウイルスの感染が拡大すると、店舗を閉めたり、臨時休業したりせざるを得なくなります。事業や子どもたちの学びを継続させていくためにも、新型コロナワクチン接種のメリットとデメリットをご確認いただいた上で、ぜひ、接種をご検討ください。

厚生労働省HP「新型コロナワクチンQ&A」(感染症専門医執筆コラム)より抜粋(R3.8.27 現在)
(※グラフデータの一部は、三重県感染症対策課提供の分析資料を使用しています)

ご自身や家族、大切な人の命、仕事や暮らしを守るワクチン接種

<ワクチン接種のメリット1> ワクチンは若者の健康、命を守る

これまで10代でCOVID-19にかかった人の数は、日本国内だけでも5万人超。その大半が軽症で済んでいるとはいえ、38度を超えるような高熱を出し、咳が2週間続いても、「軽症」に分類されます。「軽症」の言葉からくるイメージと実際に感染した人の苦しみは大きく異なるでしょう。

また、感染した若者の中には、今も嗅覚や味覚障害、疲労感、記憶障害などの長引く症状(いわゆる後遺症)に苦しんでいる人がいるのが現状です。

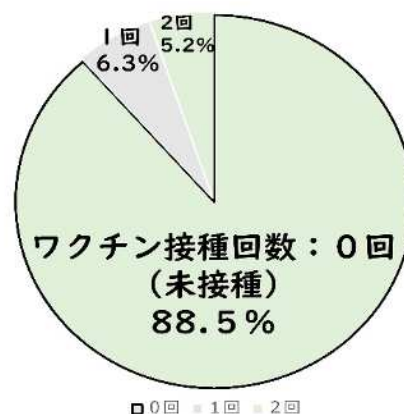
私たちは臨床試験でワクチンに高い有効性を確認できました。ワクチン接種を受け、免疫ができることによって、感染や発症の確率を大きく減らすことができます。また、仮に感染したり発症してしまったとしても、症状のある期間が短くなったり、重症化を防いだりする効果も期待できることがわかっています。

★ワクチンの感染予防効果(ファイザー社公開資料)

	感染予防効果	発症予防効果
男性	91%	88%
女性	93%	96%
16~39歳	94%	99%
40~69歳	90%	90%
70歳以上	95%	98%
基礎疾患なし	91%	93%
基礎疾患1~2つ	95%	95%
基礎疾患3つ以上	86%	89%
肥満	95%	98%
2型糖尿病	91%	91%
高血圧	93%	95%

★三重県内感染者(8/1~16)のワクチン接種状況

県内感染者の88.5%がワクチンを接種していなかった。
2回接種済みの方で重症者は0人



<ワクチン接種のメリット2> 子どもや高齢者、家族を守る

自分自身がワクチン接種を受けることで、感染しにくくなり、仮に感染してしまってもウイルスの量を低く抑える効果が知られているため、同居する家族や日常的に接する友人、同僚を守る効果も期待できます。身近に重症化リスクの高い持病のある人や高齢者がいれば、なおさらワクチンが重要になると言えるでしょう。

隣の席に座った高齢者、持病のある人は、皆誰かの大切な人であることを忘れないでください。

<ワクチン接種のメリット3>安全で安心感のある事業や学校生活を取り戻し、生活を正常化する

地域でより多くの人がワクチン接種を受けることによって、その地域の新型コロナウイルスに対する防御は高まり、感染伝播が減っていくことになります。

仮にウイルスが外から持ち込まれてしまっても、その地域からウイルスが消えていくようになります。

<ワクチン接種のメリット4>変異ウイルスが誕生する確率を減らすことができる

感染者数が増えれば増えるほど、変異が起こるリスクは上がるという点も大切なポイントです。

より多くの人がより早い段階でワクチン接種を受けることで、新たな変異ウイルス出現のリスクという点でもより安心した未来を描くことができるようになります。

<ワクチン接種のデメリット>リスクはあるが軽いものにとどまる

下の症状はワクチンに対する免疫応答の結果です。若いの方が、高齢の方より頻度が高い傾向にあるようですが、ほとんどが2~3日以内に回復しています。

長期的な副反応の可能性を懸念する声もありますが、ワクチンの成分が比較的短期間で体の中からなくなるという事実や、過去の様々な種類のワクチンの経験から、6週間までの観察で出現しないような新たな副反応が遅れて出現する可能性は極めて低いと考えられています。

※N Engl J Med 2021; 385:239-250 より作成

	1回目	2回目
注射部位の痛み	83~86%	78~79%
倦怠感	60%	66%
頭痛	54~55%	61~65%
筋肉痛	24~27%	32~41%
寒気	25~28%	40~42%
発熱	7~10%	17~20%

<まとめ>リスクをふまえてもメリットが圧倒的に上回る

このウイルスは待っていればどこかに消えてなくなるものではありません。これからも共存していく可能性が高く、今後もこのウイルスによる感染症を患うリスクと隣り合わせで生活していかなければいけません。

ですから、ワクチン接種の選択は、ワクチンを受けるか、いずれ新型コロナウイルスに感染してしまうかの選択になるということです。また、感染のリスクは、重症化や長期にわたる後遺症のリスクでもあります。

ワクチンと新型コロナウイルス、どちらがより危険でしょうか。そう考えると、若者がワクチン接種を受ける意義が見えてくるのではないかと思います。